



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月1日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 デサント

コード番号 8114 URL <http://www.descente.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石本 雅敏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役スタッフ管掌 (氏名) 辻本 謙一

四半期報告書提出予定日 平成25年8月8日

TEL 06-6774-0362

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	20,120	17.0	△258	—	△218	—	△22	—
25年3月期第1四半期	17,196	4.4	△276	—	△250	—	△251	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 688百万円 (129.8%) 25年3月期第1四半期 299百万円 (5.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△0.30	—
25年3月期第1四半期	△3.34	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	74,815	49,059	65.6
25年3月期	75,237	48,974	65.1

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 49,059百万円 25年3月期 48,974百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,000	15.4	2,600	5.3	2,700	5.7	1,800	12.4	23.89
通期	104,000	13.1	6,000	10.7	6,100	8.2	4,000	12.3	53.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年3月期1Q	76,924,176 株	25年3月期	76,924,176 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	1,576,234 株	25年3月期	1,574,138 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期1Q	75,348,946 株	25年3月期1Q	75,354,505 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業的前提に関する注記	9
(4) セグメント情報	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	10
(1) 販売実績	10
(2) 海外売上高	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、総じて緩やかに回復しています。米国経済は製造業に減速感が見られるものの、住宅市場の回復や雇用者数の堅調な拡大が続いています。欧州経済は財政緊縮の影響が大きい南欧諸国を中心に、景気の停滞が続いているものの、落ち込みが緩和する兆候が見られます。一方で新興国についてみると、中国は成長率の減速傾向は止まったものの、8%未満という緩やかな成長になっています。その他の新興国は引き続き伸びが低下しており、新興国間でも成長率の格差がみられます。日本経済は、高額商品を中心に、アベノミクス効果により企業収益は改善傾向にあり、設備投資にも回復の兆しが見られ、個人消費も拡大していますが、円安の影響等もあり輸入環境は悪化している状況です。

当スポーツ業界においては、「第22回冬季オリンピック競技大会(2014/ソチ)」や、「FIFA ワールドカップ20回記念大会(2014/ブラジル)」の開催、さらには2020年オリンピックの東京招致活動など、昨年に続きスポーツへの注目は高まっており、また、景気回復期待も背景にあるものの、継続的天候不順や需要回復の遅れにより、不透明な状況が続いています。

このような状況の中、当社グループは当期を初年度とする中期3ヵ年計画「Compass 2015」を5月に発表し、スタートいたしました。

商品政策では、「アリーナ」ブランドでは、当社とアドバイザー契約を結ぶ北島康介選手がプロデュースする新コレクション「+K(プラスケイ) arena by KOSUKE KITAJIMA」の販売を6月より開始いたしました。「ルコックスポルティフ」ブランドでは、自転車のプロロードレース「ツール・ド・フランス2013」で、優勝者に与えられるエリートジャージのレプリカモデルの販売、また「マーモット」ブランドでは、国際山岳ガイドである平岡竜石氏のアドバイスを受け開発した、高性能で超軽量レインウェア「Marmot ZERO Jacket」の販売を開始いたしました。さらに、戦略素材である太陽光遮蔽素材「サンスクリーン」を使用した商品を、引き続き国内外各ブランドで展開しています。

販売活動では、国内において、新規店として、酒々井プレミアム・アウトレットに、「マンシングウェア アウトレット酒々井店」「マーモット アウトレット酒々井店」を、三井アウトレットパーク入間に、「ルコックスポルティフ マンシングウェア アウトレット入間店」をオープンいたしました。海外においては、韓国ではソウル駅のロッテアウトレットに、「デサント」「ルコックスポルティフ(アスレチック)」「ルコックスポルティフ(ゴルフ)」の3店をオープンするなど、百貨店やモールへ積極的に出店いたしました。香港ではコーズウェイベイそごうに、「ルコックスポルティフ(アスレチック)」初の直営店第1号店をオープンするなど、各国で引き続き店舗展開拡大を進めています。

広告宣伝・販売促進活動では、国内において、サッカーでは「ルコックスポルティフ」で名古屋グランパスJリーグ20周年記念ユニフォームのレプリカモデルを発表いたしました。「アンブロ」でフットサルFリーグ所属の「府中アスレティックフットボールクラブ」とユニフォームサプライヤー契約を締結し、レプリカジャージの販売も開始いたしました。トレイルランニングでは、今春より販売を開始した「イノヴェイト×デサント」ブランドで、各大会への出展や契約選手の活躍により、ブランドイメージ向上を図りました。ゴルフでは、当社契約の横峯さくらプロ(ルコックスポルティフ)が「サイバーエージェントレディスゴルフトーナメント」で、92試合連続予選通過の日本女子ツアー記録を更新し、さらに同大会で優勝したのをはじめ、全美貞プロ(マンシングウェア)、佐伯三貴プロ(ランバン スポール)が各大会で優勝するなど、ブランドイメージ向上を図りました。海外においては、デサントコリア契約で「マンシングウェア」着用の裴相文(ベ・サンムン)プロが、アメリカPGAツアーの「HPバイロンネルソン選手権」で優勝しました。国内同様に選手契約、イベント・大会への協賛等を通じて各国で展開ブランドのイメージ向上に努めました。

社会貢献活動では、「特定非営利活動法人東京2020オリンピック・パラリンピック招致委員会」のオフィシャルパートナーとして協賛し、招致活動をサポートしております。また、デサントヘルスマネジメント研究所で培ったノウハウを活用し、福島県双葉郡(楢葉町、広野町)にて、健康増強支援プログラム「東北元気アップ教室2013」を開催、引き続き被災地の方々の心と体の健康維持向上のための支援活動を続けてまいります。さらに、熱中症撲滅の輪を広げることを目的に、一般財団法人日本気象協会が展開する「熱中症ゼロへ」活動に協賛しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は20,120百万円(前年同四半期比17.0%増)、営業損失は258百万円(前年同四半期は276百万円の営業損失)、経常損失は218百万円(前年同四半期は250百万円の経常損失)、四半期純損失は22百万円(前年同四半期は251百万円の純損失)となりました。

報告セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

ゴルフ事業は堅調に推移いたしました。アスレチック事業及びアウトドア事業は減収となりました。結果、売上高は10,214百万円(前年同四半期比3.4%減)、セグメント損失は1,033百万円(前年同四半期は716百万円のセグメント損失)となりました。

(アジア)

事業全般に亘り韓国を中心に好調に推移いたしました。アスレチック事業及びゴルフ事業で、中国では苦戦いたしました。尚、為替変動は業績に好影響をもたらしました。結果、売上高は9,903百万円(前年同四半期比49.9%増)、セグメント利益は888百万円(前年同四半期比72.7%増)となりました。

(北米)

北米ではアウトドア事業に加え、アスレチック事業の展開を開始いたしました。アウトドア事業で減収となりました。売上高は1百万円(前年同四半期比87.6%減)、セグメント損失は87百万円(前年同四半期は64百万円のセグメント損失)となりました。

取扱商品の品目別売上高の状況は次のとおりであります。

(アスレチックウェア及びその関連商品)

国内市場においては、「ルコックスポルティフ」はトレーニングウェア、ライフスタイルウェアの販売好調により、堅調に推移いたしました。「アリーナ」は新コレクション「+K(プラスケイ) arena by KOSUKE KITAJIMA」の立ち上がりも好調で、堅調に推移いたしました。「デサント」は主にジャージの販売不振により、「アンブロ」はジャージとシューズの販売不振により減収となりました。アジア市場においては、韓国において「デサント」「ルコックスポルティフ」は、現地企画が好評を博したこと、展開店舗増により、大幅な伸びで推移いたしました。結果、売上高は13,160百万円(前年同四半期比15.8%増)となりました。

(ゴルフウェア及びその関連商品)

国内市場においては、「マンシングウェア」はレディースの販売好調により、順調に推移いたしました。「ランバン スポール」はメンズ、レディース共に好調に推移し、「カルバン・クライン ゴルフ」が展開店舗増で大きく伸ばしましたが、「ルコックスポルティフ」はメンズのアウトターアイテム等の販売不振により減収となりました。アジア市場においては、韓国において「マンシングウェア」「ルコックスポルティフ」が、現地企画が好評を博したこと等により好調に推移いたしました。結果、売上高は5,880百万円(前年同四半期比10.3%増)となりました。

(アウトドアウェア及びその関連商品)

国内市場においては、「マーモット」がアイテム全般に亘り好評を博し、好調に推移いたしました。海外市場においては、「デサント」が韓国での現地企画が好評を博し、大幅な伸びで推移いたしました。北米においては、スキーウェアを中心とした事業を展開しておりますが、当期間においては減収となりました。結果、売上高は1,079百万円(前年同四半期比117.2%増)となりました。

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する説明

(資産、負債、純資産の状況に関する分析)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は74,815百万円となり、前連結会計年度末に比べ422百万円減少致しました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ1,470百万円減少し、55,103百万円となりました。これは主に現金及び預金の減少4,367百万円、受取手形及び売掛金の減少2,132百万円、商品及び製品の増加3,736百万円によるものです。

固定資産は前連結会計年度末に比べ1,048百万円増加し、19,711百万円となりました。これは主に有形固定資産の増加559百万円、投資その他の資産の増加532百万円によるものです。

負債合計は前連結会計年度末に比べ506百万円減少し、25,756百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少691百万円、短期借入金の増加424百万円、賞与引当金の減少358百万円によるものです。

純資産は前連結会計年度末に比べ84百万円増加し、49,059百万円となりました。これは主に利益剰余金の減少625百万円、為替換算調整勘定の増加669百万円によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ0.5%増の65.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く環境はさらに厳しい状況で推移するものと見込まれます。

このような状況のなかで、当社グループは引き続き企業体質の強化による収益力向上と企業価値の向上に努めてまいりたいと存じます。

連結業績予想につきましては、概ね当初予想の範囲内で推移しており、現時点においては、平成25年5月9日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

一部の連結子会社について、税金費用は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、当該連結子会社の法人税等は、法人税、住民税及び事業税に含めて表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,536	14,169
受取手形及び売掛金	18,694	16,562
商品及び製品	16,399	20,136
仕掛品	79	128
原材料及び貯蔵品	559	613
その他	2,363	3,560
貸倒引当金	△59	△66
流動資産合計	56,573	55,103
固定資産		
有形固定資産	11,626	12,185
無形固定資産	1,179	1,134
投資その他の資産		
その他	6,020	6,554
貸倒引当金	△162	△163
投資その他の資産合計	5,858	6,391
固定資産合計	18,663	19,711
資産合計	75,237	74,815
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,212	14,521
短期借入金	—	424
1年内返済予定の長期借入金	1,500	1,500
未払法人税等	963	1,154
賞与引当金	788	429
返品調整引当金	303	380
その他	4,390	3,990
流動負債合計	23,159	22,400
固定負債		
退職給付引当金	1,047	1,086
その他	2,054	2,269
固定負債合計	3,102	3,355
負債合計	26,262	25,756

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,846	3,846
資本剰余金	25,184	25,184
利益剰余金	20,576	19,950
自己株式	△661	△663
株主資本合計	48,944	48,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	258	305
繰延ヘッジ損益	△45	△51
為替換算調整勘定	△183	486
その他の包括利益累計額合計	30	740
純資産合計	48,974	49,059
負債純資産合計	75,237	74,815

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	17,196	20,120
売上原価	8,523	9,313
売上総利益	8,672	10,807
返品調整引当金繰入額	48	76
差引売上総利益	8,623	10,731
販売費及び一般管理費	8,900	10,989
営業損失(△)	△276	△258
営業外収益		
受取利息	23	20
受取配当金	20	20
その他	52	48
営業外収益合計	95	89
営業外費用		
支払利息	0	0
固定資産除却損	3	18
為替差損	62	29
その他	2	1
営業外費用合計	69	49
経常損失(△)	△250	△218
特別利益		
固定資産売却益	29	—
特別利益合計	29	—
特別損失		
投資有価証券評価損	209	—
特別損失合計	209	—
税金等調整前四半期純損失(△)	△430	△218
法人税、住民税及び事業税	147	432
法人税等調整額	△326	△628
法人税等合計	△178	△195
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△251	△22
四半期純損失(△)	△251	△22

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△251	△22
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△99	46
繰延ヘッジ損益	2	△5
為替換算調整勘定	631	635
持分法適用会社に対する持分相当額	17	33
その他の包括利益合計	551	710
四半期包括利益	299	688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	299	688

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,578	6,606	11	17,196	—	17,196
セグメント間の内部売上高 又は振替高	162	12	—	175	△175	—
計	10,741	6,618	11	17,371	△175	17,196
セグメント利益又は損失	△716	514	△64	△266	△10	△276

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△10百万円には、セグメント間取引消去11百万円、棚卸資産の調整額△21百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	北米	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,214	9,903	1	20,120	—	20,120
セグメント間の内部売上高 又は振替高	88	84	—	172	△172	—
計	10,303	9,988	1	20,292	△172	20,120
セグメント利益又は損失	△1,033	888	△87	△232	△26	△258

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△26百万円には、セグメント間取引消去36百万円、棚卸資産の調整額△63百万円を含んでおります。

(注) 2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 販売実績

(単位：百万円、%)

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)		増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
アスレチックウェア 及びその関連商品	11,368	66.1	13,160	65.4	1,792	15.8
ゴルフウェア 及びその関連商品	5,331	31.0	5,880	29.2	549	10.3
アウトドアウェア 及びその関連商品	496	2.9	1,079	5.4	582	117.2
計	17,196	100.0	20,120	100.0	2,923	17.0

(2) 海外売上高

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	6,864	11	58	6,935
II 連結売上高				17,196
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	39.9	0.1	0.3	40.3

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・・・・韓国、中国、香港等

②北米・・・・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・・スイス等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

(単位：百万円、%)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高	10,130	4	0	10,134
II 連結売上高				20,120
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合	50.4	0.0	0.0	50.4

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 各区分に属する主な国又は地域

①アジア・・・・・・韓国、中国、台湾等

②北米・・・・・・米国、カナダ

③その他の地域・・・・スペイン等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。